



## 大好きな日本

バトトウル ソブドエルデネ  
BATTUR SUVD-ERDENE

誰でも病気がなければ幸せだよと言うけど前はこの言葉を全然わかってない気がします。急に病気になってすごいショックでした。私がどんなことがあってここにいるかなと思いました。蘇生してみたら部屋に一人っきりでいて隣に会社の二人がいました。次にお母さんが来てくれたらもう一度ショックで、確かに変なことが起きたんだなと思いました。どんなことが起きたのか全部、お母さんとお見舞いに来てくれる人々に聞いてじょじょに落ち着いて来ました。看護師さんがアンケートを記入しに来た時自分が何歳か、あの時何月かわからなかったです。

運が良くて良い人ばかりに囲まれているから本当にラッキーでした。

その日、朝、起床していつもどおりに会社に行くと友達に言われるけど生憎それもわからないです。頭が痛いから家へ帰ってもいいですかと上司の方に聞いて「自分で帰れますか」と聞かれ「帰れますよ」と答えたいです。「トイレへ行って来ます」と行ったけどそのまま倒れてしまいました。その後、救急車が病院に運ばれました。運良く先生がその時だけ手術がなく、すぐに一日中ずっと全身麻酔を入れて普通じゃなくて大きな手術を続けていました。

一緒に働いている仲間たちも普段、私と同じように頭が痛くてもあまり気にしていないで

す。私もそうですが今回は頭の中の血管が詰まって血が噴出してしまいました。手術が終わって麻酔で二日間、意識不明でした。その二日間、家族と会社のみんな、友達がみんな心配してくれて嬉しいです。蘇生して日本語でしゃべるかな、モンゴル語でしゃべるかな、なんか忘れちゃったらどうかなと色々心配していましたが日本語とモンゴル語、両方とも理解できました。毎日、お母さんが来てくれてたまに友達と会社の人に来てくれて涙が出るほど嬉しかったです。

入院している時、携帯電話が禁止されていたからモンゴルにいる家族のみんなと連絡できなかったからお父さんの顔を見て話して本当に嬉しくてたまらなかったです。「本当に心配しましたよ」とお父さんに言われました。

今の私はみんなが助けてくれたからここにいるので自分のできることを全部やってそれがみんなに対しての恩返しになるかなと思います。「ありがとう」と何回も言いたい人がたくさんいます。病院の先生と看護師さん、会社のみんな、家族、友達みんなに心から感謝しています。

日本がただ好きでした。あの時から大好きになりました。この人生が色々あってそれをもう一度、体験を蓄積する可能性ができてたべんありがとうございます。

人生が大好きです。

国籍	モンゴル
職種	機械検査
実習実施者	藤田螺子工業株式会社
監理団体	九州ネット協同組合